

嶺南地域文化施設及び県内図書館との連携事業

福井県 福井県立若狭図書館学習センター

基本データ

所在地	福井県小浜市 南川町 6-11
職員数	9人
うち司書数	4人
蔵書数	285,775冊
利用登録者数	5,140人
年間貸出冊数	117,719冊 (児童用図書貸出数 37,938冊)

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】連携

【活動のねらい】

- 地域の文化施設の紹介やゆかりの文学作家・作品の紹介により、県民の郷土(ふるさと福井)への関心を喚起する。
- 地域の博物館・資料館や公共図書館と協力して事業を行うことにより、互いの連携を深める。

取組・活動の概要

(1) 嶺南地域文化施設との連携事業

①嶺南のミュージアム大集合！ / ②若狭路の学芸員が選んだ『私の1冊』

【会場】福井県立若狭図書館学習センター

【期間】令和元年10月25日(金)～11月27日(水)

- ①「嶺南のミュージアム大集合！」では、各館の外観、展示室、「お宝」資料の写真とともに、見どころなどをパネルで紹介した。また各館のミュージアムグッズを紹介(実物展示)した。



嶺南のミュージアム大集合！

- ②「若狭路の学芸員が選んだ『私の1冊』」では、各学芸員がおススメする嶺南地域ゆかりの1冊の紹介をパネルで紹介。実物の本を図書室内で特集し、ブックリストを会場で配布した。



若狭路の学芸員が選んだ『私の1冊』

(2) 県内図書館との連携事業

- 水上勉生誕100周年記念「水上勉 ふるさとを描く」

【会場】福井県内各公共図書館

【期間】夏休みから読書週間頃のなかで、各館で設定してもらった。

- 福井県おおい町出身の作家・水上勉の生誕100周年にあたり、令和元年度の福井県の公共図書館利用促進事業として、県内各図書館で、その地域が舞台となった作品、またゆかりのある作品をパネルで紹介し、水上勉の著作、関連資料の本の特集を行った。



水上勉生誕100周年記念「水上勉 ふるさとを描く」

取組・活動の工夫や特徴

(1) 嶺南地域文化施設との連携事業

- 紹介文や写真データは、各館から提供してもらい、展示パネルのフォーマットを同一にすることで、作業効率をあげた。
- 各館のパンフレット、チラシ類を会場で配布し、PRを図った。

(2) 県内図書館との連携事業

- あらかじめ各地域で舞台となった作品の一覧表、紹介パネルデータを作成・提供することで、各館の負担を軽減した。
- 本の特集は、各館の蔵書で行ってもらい、それぞれができる範囲での展示・特集を行ってもらった。

取組・活動の成果や今後の展望

(1) 嶺南地域文化施設との連携事業

- 展示終了後、いくつかの館から、地域の博物館・資料館をつなぐ企画への感謝や、他館の展示内容が参考になった等の意見をもらった。

(2) 県内図書館との連携事業

- 自分の市町ゆかりの作品について初めて知った、該当作品を郷土資料として入手を図った、などの意見・対応があった。

